

笠間陶芸大学校事業による人材育成

支援先

県内製陶業等

【内 容】

本事業は、陶芸産地を担う人材育成を図る目的で実施しており、陶芸学科（1年生9名，2年生10名）と研究科（3名）の学生が学んでいます（図1）。本年度は授業の一環として、地元商店街空き店舗対策事業（図2）や地元自治体施設建設における名板制作といった協力も行いました。

事業を強化する目的で全国区レベルの講師を招聘し、現代陶芸に必要な知識を身に付ける特別講座（座学）、ワークショップ（参加型講座）や地元陶芸家による実習指導等（図3）を開催し、陶芸従事者の参加もあり、産地の技術力向上にも結び付けました。

情報発信として計36件が報道され、オープンキャンパス（授業体験や校内見学）を2回（8/19, 10/14, 計58名参加）開催し、当校PRにも努めました。

■報道36件：新聞10件，TV3件，ラジオ1件，インターネット記事9件，その他13件



図1 ロクロ課題風景



図2 空き店舗での展示



図3 実習指導風景



図4 公募展入賞作品

インターン実習での地元窯元での就業体験をはじめ益子や多治見との学生交流では、学生への「気づき」を促すことができ、学生同士の切磋琢磨が感じられました。また、公募展入賞3点（図4）や入選3点の成果もありました。

今年度は計13名が卒業予定で、それぞれ現代陶芸作家を目指し、地元を中心に独立自営や窯元就業する学生、または進学する学生においても、将来の笠間産地を担う人材として大いに期待されます。

基礎となった事業

平成29年度 笠間陶芸大学校事業

現在の担当部門

人材育成部門	部 門 長	尾形 尚子	TEL:0296-72-0316
	特 任 教 授	佐藤 雅之	
	特 任 教 授	五味 謙二	
	主任研究員	常世田 茂	
	嘱 託	根本 達志	
工芸・材料技術部門	主任研究員	吉田 博和	